

第6学年 国語科学習指導案

1 単元名 「枕草子」の秋の情景をプログラミングで表そう

2 単元の目標

- ・リズムや響きの良さを感じながら、進んで音読に取り組もうとする。
- ・「枕草子」の文章について、内容の大体を知り、リズムや響きの良さを感じながら音読することができる。
- ・「枕草子」の情景をプログラミングを通して、表現しようとしている。

3 本時の学習

(1) 目標

「枕草子」の秋の情景を「viscuit」を用いてプログラミングしてアニメーションで表現し、文章に表されている情景や様子について、より深く考えることができる。

(2) プログラミングを取り入れる効果

本単元では、「枕草子」につづられている秋の情景を読み取り、「viscuit」を用いてアニメーションに表す。プログラミングを取り入れることで、古文独特の表現や一つ一つの言葉の意味に注目して、清少納言が書き表した情景について、想像を広げられるように指導を進めたい。

本時の活動の前に、「枕草子」を読み取り、アニメーションに表したい情景をスケッチさせておく。児童は、「枕草子」の情景を表現しようとする過程で、「viscuit」の基礎的な操作を習得するとともに、アニメーションの動きを組み合わせたり、改善したりしながら論理的に考え、自分の意図する動きを表現する中で「プログラミング的思考」を養うことができると考える。

(3) 展開

学習活動	指導上の留意点 (◇評価)
1 本時のめあてを確認する。	・前時に児童がスケッチした風景をアニメーションに表すことを確認する
清少納言になりきって「枕草子」の秋の様子を表そう	
2 「viscuit」を用いて、「枕草子」の秋の情景をアニメーションにする。	・操作が不十分な児童を適宜支援する。
3 作品の途中経過を見せ合って、友達の作品のよさや改良点を見つける。(動きの速さ、向き、組み合わせ等)	・友達の作品の良さや工夫に注目するよう言葉がけをする。 「秋の雰囲気が出ているね。」 「動きの組み合わせがいいね。」 「もう少しゆっくり動かしたら？」等
4 できた動画を発表し合う。	◇自分の考えた秋の情景をアニメーションにして表現することができたか。
5 うまくできたことや改善したいことをふりかえる。	

4 本時の評価

「十分満足できる」と判断される状況	「枕草子」の秋の情景をプログラミングして、アニメーションで表現することができる。
「おおむね満足できる」状況を実現するための手立て	情景を表現するのに必要と思われる操作を声かけし、支援する。